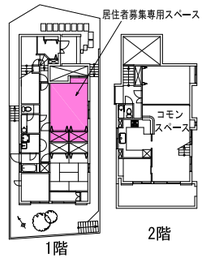
空室情報

今月の「空き住戸出ました！オススメのお部屋」は…



●タウンコレクティブ エコダハウス

洋室10畳＋２間分のクローゼット。
家賃　65,000円／月
※この他に、コモンスペース（キッチン、ダイニング、リビング、テラス）、居住者と大家さんが協力して管理する庭があります。
＜家賃以外の経費＞
共益費など：居住者組合で決めて運営しています。（現在の共益費については、コレクティブハウジング社までお問い合わせください）　駐車場：ご相談ください。

居住者・居住希望者交流「暮らす会」メンバー募集中！

コレクティブハウスのあれこれをシェアする「居住希望者・居住者・元居住者」の交流の場「暮らす会」。居住希望者の会って？　他のハウスでは、どんなことが話されているの？と気になった方は、ぜひ「暮らす会」にご参加ください。毎月１回の定例会への参加や、情報収集としてメーリングリストに登録いただくだけでも結構です。
参加希望の方は、居住者・居住希望者になって「参加希望であること」をそれぞれのメーリングリストにて表明していただければ、後ほど担当からご案内メールが届きます。

各ハウス 居住者のブログ

実際の暮らしの様子は、コチラ
スガモフラット
http://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/
コレクティブハウス聖蹟
http://chcseiseki.blog60.fc2.com/
コレクティブハウス大泉学園
http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/

居住希望者の活動の様子

http://common-meal.blogspot.jp/

事業主募集中！

NPOコレクティブハウジング社（CHC）では、事業主を募集しています。
コレクティブハウスは、大家さんの余分な手間やコストを削減し、空室を減らします。CHCが、居住者の暮らしと大家さんの物件管理の両方の運営支援を行いますので、安心して賃貸物件としての事業を継続できます。コレクティブハウスの賃貸事業に興味ある事業主さん、ご連絡お待ちしております！
たくさんの居住希望者が、住みたいまちのエリアを中心に、事業主さん探しの活動を続けています。

スケジュール

※5月以降の日程はお問い合わせください

●住みたい方オリエンテーション

コレクティブハウスに住みたい
暮らしづくりに興味のある方

3月24日（金）　19：00 ～ 21：00
4月 2日（日）　10：00 ～ 12：00
4月12日（水）　19：00 ～ 21：00
4月27日（木）　19：00 ～ 21：00

参加費：無料
会場：目白CHCオフィス

●コレクティブハウジング入門

コレクティブハウスに住みたい
暮らしづくりに興味のある方
コレクティブハウジングのことを
お知りになりたい方

3月28日（火）　19：00 ～ 20：30
4月10日（月）　13：30 ～ 15：00
4月13日（木）　19：00 ～ 20：30
4月28日（金）　19：00 ～ 20：30
参加費：3,000円
会場：目白CHCオフィス

●コレクティブハウス見学会

実際のハウスを見てみたい方

コレクティブハウス大泉学園
3月25日（土）　10：00 ～ 11：30
スガモフラット
4月15日（土）　13：00 ～ 14：30
コレクティブハウス聖蹟
4月22日（土）　13：00 ～ 15：00

参加費：2,000円
会場：各ハウス

お知らせ

● Facebook ページ

CHC の facebook ページ「コレクティブハウジングで行こう！」が、ホームページのトップからご覧頂けるようになりました。
ぜひ「いいね！」ボタンへのクリックをお願いいたします。
http://www.chc.or.jp/

人材募集！　あなたのやる気、専門知識を活かしませんか？

NPOコレクティブハウジング社では、活動に協力してくれる人材を募集しています。 info@chc.or.jp まで

●目白オフィス　オープンデイ

目白オフィスを会員のみなさんにお気軽にお越しいただけるよう、毎週木曜日午後をオフィス オープンデイとしています。事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。
※メンバーが不在の場合もありますので、お越しの際には、事前に事務局までご一報ください。
TEL: 03-5906-5340 / MAIL: info@chc.or.jp

発行　NPOコレクティブハウジング社（CHC）
〒171-0031東京都豊島区目白3-4-5アビタメジロ302
TEL: 03-5906-5340　FAX: 03-5906-5341　E-mail: info@chc.or.jp

これこれ新聞
定価200円（税込）
定期購読1,000円（年間／送料別）

隔月刊 CHC これこれ新聞

［リレー連載］コレクティブハウスって何？
「北欧生まれの賃貸集合住宅。いわゆるシェアハウスや寮とちがい、各住戸はバス・トイレ・キッチン付きです。居住者は、独立した住戸でプライバシーを確保しながら、食堂や庭などの共用スペースでゆるやかに交流します。複数の家族やカップル、一人暮らしの人など、多世代の多様な人たちが共同作業（食事・家事・イベントなど）をする機会を持ちつつも、基本的にはそれぞれのペースで生活します。（編集部・R）」

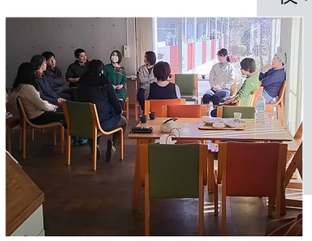
コレクティブハウスの交流会開催

～元総社コモンズの居住者、東京のハウスを訪問

1泊2日で交流を楽しみました

コレクティブハウジング社（CHC）がサポートしているコレクティブハウスは、東京都内の３棟のほかに群馬県前橋市にコレクティブハウス元総社（もとそうじゃ）コモンズ（元総社コモンズ）があります。ここは、群馬県住宅供給公社が、保育園や高齢者住宅用の建物の一部をコレクティブハウスとして建設した全12戸の賃貸住宅です。CHCがサポートしている最も新しいコレクティブハウスです。各住戸の前には園芸や菜園を楽しめる小さなスペースがあるほか、大きな共有の畑もあり、郊外型ハウスならではの生活が楽しめます。現在居住者は大人10名、子ども３名で、外国人の家族も一緒に暮らしています。

地理的に離れているため、元総社コモンズの居住者はほかのハウスの暮らしや運営がどんなふうになっているかを知る機会がなかなかありません。そこで、「暮らす会」（居住者や居住希望会員の交流と情報交換の場）が、元総社コモンズの居住者と東京のハウスの交流会を企画しました。元総社コモンズからは大人２名、子ども２名が参加しました。



コレクティブハウス巣鴨（スガモフラット）では、大人はハウスの見学会に参加し、ハウスの施設を見て居住者から日々の暮らしぶりを聞きました。子どもはスガモフラットの子どもたちとすぐにうちとけて、仲良く遊んでいました。

コレクティブハウス聖蹟（CH聖蹟）でのコモンミールは、30名以上が参加するにぎやかな夕食でした。子どもたちは早朝からのスケジュールで少し疲れをみせながらもミールを完食。CH聖蹟の子どもたちとも楽しい時間を過ごしました。

19日の午前中は、元総社コモンズの居住者、CH聖蹟の居住者、暮らす会の会員総勢12名で、コレクティブハウスの暮らしや運営について話し合いました。定例会（日々の生活やハウスの管理について話し合う会）、ハウスの掃除やグループ活動、コモンミールなどをどうしたらうまく運営していけるか。CH聖蹟の居住者から、今まで積み重ねてきた豊富な体験から様々なアドバイスや提案が出されました。「先輩コレクティブハウスの暮らしに触れ、“程よい距離感”を肌で感じ、仲良くすることにこだわりすぎていたかもと気づいた。定例会は準備をしっかりすれば、より意味あるものにできると思った」と、ハウス運営の手がかりを得られたようです。

今回参加できなかった人からも「東京のハウス訪問をしたい」という声が上がっています。暮らす会では、今後もハウス間の交流を活発にしていく予定です。

交流会プログラム

■2月18日（土）
午後：コレクティブハウス巣鴨（スガモフラット）見学会
夜：コレクティブハウス聖蹟でコモンミール
　ゲストルームで宿泊
■2月19日（日）
朝：コレクティブハウス聖蹟の居住者、暮らす会会員とともに朝食
午前：コレクティブハウス聖蹟の居住者との交流会

入居者募集

「タウンコレクティブ南小岩」入居者募集を開始しました！

タウンコレクティブ南小岩は、家主さんからNPOコレクティブハウジング社が借り上げて大家となり、タウンコレクティブの住まいとして居住者が自分たちで運営する形態になります。家主さんは自邸が空き家になり、地域に貢献できる方法を模索していました。都内では３か所目で、2017年４月のオープンを予定しています。

建物は築30年。耐震上も安心できる住まいにするために改修工事をしています。居住希望者で壁塗りDIYをするなど、楽しみながらハウスを立ち上げていきますので、ぜひご参加ください。

＜現在募集中の住戸＞

［2］洋室5.25畳

家賃　49,000円／月（予定）

［3］洋室6畳＋バルコニー

家賃　59,000円／月（予定）

［4］洋室3畳＋物入

家賃　39,000円／月（予定）

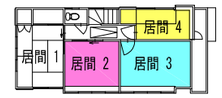
・他にコモンスペース（キッチン、ダイニング、和室８畳掘りごたつ付）と庭があります。

・駐輪スペースあります。

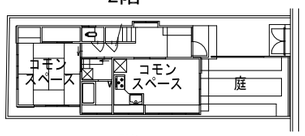
＜家賃以外の経費＞

共益費など：オープン後、居住者組合で決めます

※オープンまでの経過は５月号をお楽しみに！



2階



1階

よいところがいっぱいの南小岩、街の魅力をリストアップ！

◎家の近くからは小岩駅、亀戸駅、錦糸町駅行きのバスが出ている
◎サイクリングやジョギングに最適な川岸が近い
◎区民菜園が近い（すでに抽選申し込み済。当たりますように）
◎江戸川区は緑道が多く、散歩にもってこい
◎人情味ある街
◎小岩駅、新小岩駅の商店街は親しみある小売店が多く、歩いていて楽しい。
◎物価も安く、お惣菜なども豊富に売っている　などなど

これこれ調査隊が行く！

Q コレクティブハウスならではの面白かったこと、良かったこと、入居後のちょっとした後悔やズレはありましたか？

仕事から帰宅したら、他の家の子どもたちがたくさんいて驚いた／定例会の長さに驚いた／ゴキブリが出てきて助けを求めたら、通りがかりの居住者が助けくれた／コウモリが入ってきて居住者みんなに助けてもらった。こういう暮らしで良かったなと思った／定例会で多様な意見を聞くと、自分はものごとを一方向からしか見てこなかったが、多面的に見ることができるようになったと感じる。

Q 定例会のことをどう感じていますか？

立ち上げから住んでいるので、その頃と比べると話し合う時間は短くなっている／コレクティブハウスよりも、町会の集まりやご近所づきあいの方が大変かもしれない。

これこれ川柳

独り者 保育も介護も よくわかり　麹酒

本当は 住人十色と 書くべきか　おさむ

ミールある？ 保育園児が 今日も聞く　胡麻豆腐

いつの日か 自分も共に コレクティブ　満世

活動紹介

毎月第３木曜の夜は「さんもくカフェ」

2016年２月から始まった、コレクティブハウジング社（CHC）会員とその知人・友人の交流の場「さんもくカフェ」。毎月第３木曜の19：00 ～ 21：00に、CHC目白オフィスで開催しています。話のきっかけになるシンプルなテーマとお茶・お菓子が用意されており、ワンコイン（500円）で気軽に参加できるのが魅力です。

これまでに、「コレクティブハウスについて」「家族のかたち」などのテーマが登場しました。なかでも「さんもく哲学カフェ」（名称は開催当時のもの）は大好評。当日の参加者みんなでテーマを決めて、感じたこと・考えたことを話す哲学カフェは、全員が終了時間を忘れて熱中するほど。また、回によっては参加者からお菓子やワインなどの差し入れもありました。

「さんもくカフェ」は、現在３名の会員（居住者1名・居住希望者２名）が企画・運営しています。参加者10名以内のアットホームな雰囲気で楽しんでいますが、２年目の2017年は、哲学カフェのほかに少し趣向を変えたイベントも予定しています。

居住者だより

コレクティブハウス聖蹟　地域交流プロジェクト
みんなの食卓～関戸の実家～

「コレクティブハウスで一緒にご飯を食べませんか？」

主催／コレクティブハウス聖蹟　地域交流チーム
場所／コレクティブハウス聖蹟
（京王線・聖蹟桜ヶ丘駅から徒歩５分）
日時／毎月24日 19：00 ～ 20：30

毎月24日は、町のみんなでごはんを食べる日。
残業で「今日はもうごはん作りたくない」っていう働くお母さん。 実家の手料理が恋しい学生さん。 買い出しが億劫なシニアさん。 よってらっしゃいな。

コレクティブハウスでは「コモンミール」という共同の食事作りを行っています。居住者が交代で、月の半分ほどの日数、希望者分の食事を作ります。食べる食べないは自由、いつどこで食べるのも自由ですが、時間帯が合う人たちはよく一緒に食事をします。テーブルを囲み、手作りの食事をいただくのは、日常のことでありながら、やはりどこか特別な感じがするものです。時にはお友達が来て作ってくれることもあり、それもまた美味しくて、楽しいものです。

そんなコモンミールを、居住者以外の人たちとも共有できたらよいなあという気持ちで、毎月24日を基本に開催しています。

―参加のしかた―

1. 予約をお願いします。
   メールか電話で23日19時までに大人・子どもの人数をお知らせください。
   （予定人数を超えた場合には、締め切ることもあります）
2. 当日、時間内においでください。
3. 食費の負担をお願いします。
   大人＝1食400円、子ども＝1食200円を当日、現金でお支払いください。

●ご予約、お問合せ

e-mail：sekido.jikka@gmail.com　または
電話：03-6316-5558（担当：大橋）

連載コラム　育児日誌 in コレクティブハウス　その９〈後半〉

コレクティブハウス居住者、O橋さん（40代男性）のコレクティブハウスでの子育てと暮らしの様子をお伝えするコラムです。O橋さんの奮闘する育児の様子を楽しみながら、見守っていただけると幸いです。

子どもが生まれる前を思い出し、あれこれ心配になっていた自分の話です。

もし何か困難を持った子が生まれた時に、妻がこのコレクティブハウスの生活、身近に他の家族がいる環境で暮らしていけるのかどうかと、考えをめぐらせていました。もちろん、ダメとなればハウスから引っ越してもよいわけですが、そんな場面も切ないではないですか。よかれと思って始めたこの生活が、妻にとって耐えられない現実になり、傷付く要因になってしまったらどうしようと思いました。もちろん、長い目で考えれば、家族で困難を抱えていればこそ、コレクティブハウスでの支え合えるこの生活のよさ、ということもあると思うのですが、すぐにそう思えるかどうかという問題もあります。

そんなこんなで、意外と結構、思い悩んでいたのです。これって、プレグナンシーブルー？ 違うか。（笑）でもまあ、本当に心配して過ごしていました。結果的には何ごともなく、ただただ楽しい日々を過ごしています。

そして、実際に生まれてから今まで子どもと過ごして思うことは、親がどうよかれと思っても、子どもは親が思うことに幼くたってむしろ反発するし、親が何か願ったからといって、そうなるというものでもありません。だから、親としてできることというのは、子どもにちゃんと向き合うこと、そして子どもを信じてあげること、それくらいしかないんだなぁというのが実感です。

２年7ヶ月前に、右往左往して思い悩んでいた自分よりは、今、少し大きな気持ちで構えられるようになったと思います。こんな風に、自分自身が成長できたのかもしれないという話でした。（つづく…）